

人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 IN上田

堺市のおでかけ応援制度を通して バス公共交通政策を考察する

2024年3月17日

堺市のバス・公共交通を考える会 松永 健治

「堺市のバス・公共交通を考える会」とは

◆「会」がめざすもの（市民の立場から提言・運動）

- 誰もが、安全・安心で自由・快適、安価に移動できる街にしたい！
- 自転車も含むバス・公共交通を軸にしたまちづくりをめざす

◆「会」結成の契機は

- 19堺市長選挙で市長が交代。おでかけ応援制度は大丈夫か？

◆守りの運動ではなく、準備して攻勢的な運動を!

- 約3年、勉強会・交流会を重ね、21年9月正式に「会」を結成
- 市長が、おでかけ応援制度「条例改定案」を提案(21年8月)**

⇒ 「会」が、直ちに市民に運動を呼びかけ! ⇒ 「条例改定案」が否決!

報告の骨子について

- I おでかけ応援制度の概要
- II 制度の成立・拡充の経緯
- III 制度の「条例改定案」をめぐって
- IV 制度の「社会的効果」について
- V 制度の「財源」について
- VI まとめ

堺市のおでかけ応援制度とは

(市民に大人気の制度)

- ・65歳以上の高齢者は、100円でバス(路面電車・阪堺線も含む)で、自由に市内へ出かけられる。
- ・対象市民の71.5%がカードを所有。
- ・財源は、堺市と南海が折半で負担。
- ・“65歳になるのが楽しみ♪”との市民の声

おでかけ応援制度は、**市民の運動**で実現

(高齢者施策として発足)

- ・住民の運動を受け、政令指定都市を中心に「高齢者施策」として展開された。(1970年ころ)
- ・堺市でも、1980年代から高齢者(年金者組合)が中心になって「敬老無料パス」運動をすすめた。堺市老人クラブ連合会なども動く。
- ・2000年、堺市ふれあいバスの運行開始
- ・2004年、「おでかけ応援バス」制度がスタート(5の付く日)。以降、順次拡充されてきた。2018年に現制度まで拡充された。
- ・2013年、堺市ふれあいバス廃止。

おでかけ応援制度「条例改定案」をめぐって

跳ね返した「力」の背景

①永藤市長の「拡充する」との市長選挙「公約破り」の重大さ

②堺市の「効果検証報告書」（H28年度）が「条例改定案」の根拠を崩す

○高齢者への効果だけではなく、「社会的効果」が大きい

③沢山の市民が利用している身近な制度（65歳以上の71% 16万人が保有）



大好きな堺市民の皆さまへ

水道料金大幅値下げ!

幼児教育無料化!

おでかけ応援バス拡充!

必ず実現します!

市長候補 **ながふじ 永藤** ひでき(41)

大阪維新の会

**「否決」後、わずか1ヶ月半で「再提案」
再提案された「条例改定案」をめぐって**

一気に広がった「市民共同」の運動

- 短期間での運動に、当初躊躇も…
- 「何かしたい！」との一市民の声 みんなの心に灯を付けた！
- 私たち「会」のビラを大量追加印刷
- 市民が主体になった運動に広がる。



おでかけ応援制度の「条例改定案」を 市民の運動の結果、二度にわたって「否決」！



制度の「社会的効果」について

「社会的効果」が大きい「おでかけ応援バス」

① 高齢者への効果は当然

健康増進効果、社会参加促進効果が大きい。

② 社会的効果が大きい

地域経済への波及効果が8.8倍。

路線バスの効率的運行、維持効果がある。

…堺市の「効果検証報告書」(H28年度)より

出典:堺市HPより



バスの効率的運行 & 維持確保に寄与

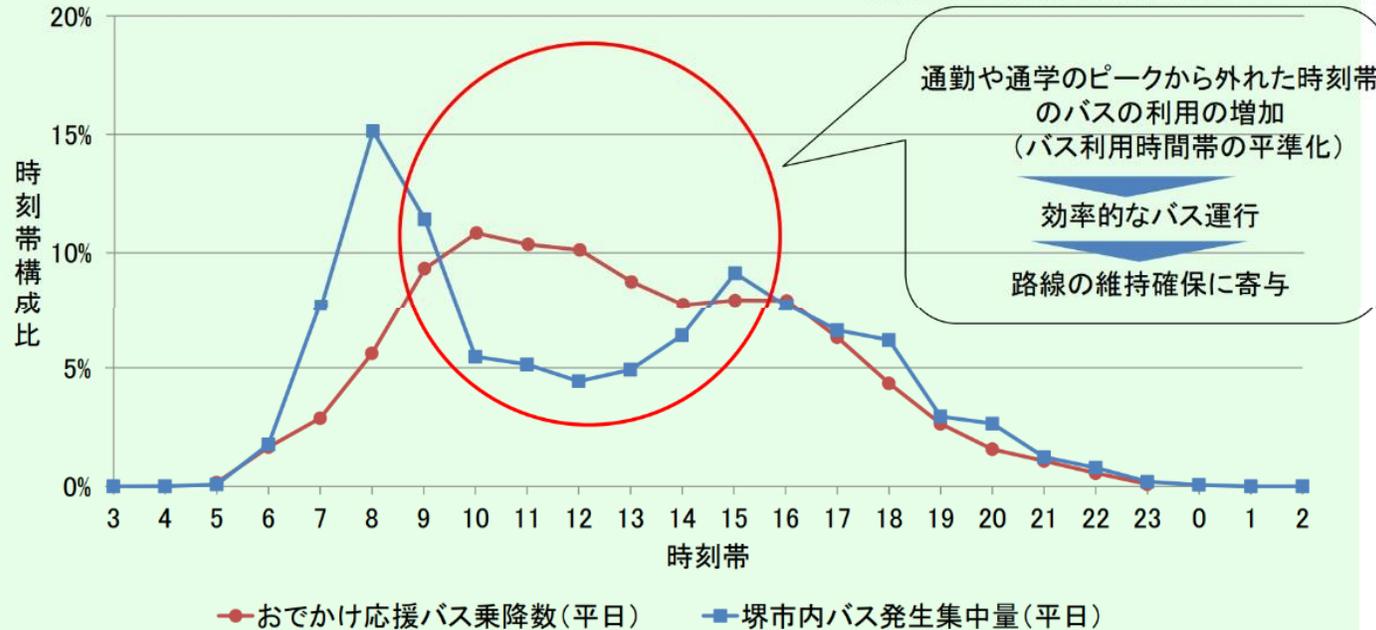
①公共交通の利用促進及び維持確保

10

■ おでかけ応援バス利用時刻帯(利用実績より)

- おでかけ応援バスの利用時刻帯のピークは、10～12時台

○おでかけ応援バス乗降数(平日)
 ・平成27年11月～平成28年10月の平日利用実績
 ・0時台はタッチミスを含むため除外
 ○堺市内バス発生集中量(平日)
 ・平成22年 第5回近畿圏パーソントリップ調査より、バスを代表交通手段として堺市内をトリップエンドとする平日の発生集中量



朝夕のピークから
外れた利用が多い



効率的なバス運行



バス路線の維持確保

通勤や通学のピークから外れた時刻帯のバス利用者が多く、路線の維持確保に寄与

出典: 堺市HPより

制度の「財源」について

「財源」問題について

●堺市の制度の「財源」は

- ・ 通常の運賃との差額を堺市と南海バスが50%ずつ負担する。
- ・ 堺市の負担額
438百万円
- ・ 堺市の負担額に対して、国からの支援は現在ない

●国の支援制度は

- ・ 国からの支援策(補助金、交付税)

ハード + 運行の結果生じた赤字分への支援

⇒ **赤字が出ないように努力・工夫しても支援の対象にならない**

堺市のおでかけ応援制度は

●「事前の財政支援」することで

- ・バス事業の収支が健全に保たれている。
- ・地域経済への波及効果も大きい。
- ・バス利用を促し、バス路線の維持にも繋がっている。

★二重三重に効果のある堺市の制度

…しかし、これに適合する国の支援制度がない。

まとめ

①制度・施策の実現には

- ・科学的根拠とともに、住民の運動の大切さを示している。

②おでかけ応援制度は「社会的効果」が大きい。

- ・地域経済への波及効果
- ・バス利用促進、バス路線維持効果

③バス公共交通の利用促進を図る自治体の積極策を、国が後押しする新たな支援策が求められる。